

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network

# Now

2026 No.604

4 / 1

JART情報  
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル22階  
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



## 2025年度 第6回理事会 開催される (Web併催)

2026年2月21日(土)午後2時より、2025年度第6回理事会が日本診療放射線技師会事務所でWeb会議システムを併用して開催されました。

冒頭に上田会長よりあいさつがあり、第51回衆議院議員選挙における本会顧問の畦元将吾氏再選について触れられました。今後も医療行政に関して関係省庁と密に連携を図り、また畦元氏の協力を得ながら、国民の利益に資する活動に努めていく方針を述べられました。

本理事会の主な議題は、「令和8(2026)年度 事業計画案」「令和8(2026)年度予算案」「第2回日本放射線医療技術学術大会(JCRTM)の開催について」「新会員情報システムとホームページリニューアルの見積もり」でした。

初めに園田理事より、令和8(2026)年度 事業計画案について説明がありました。次年度より事業分類が一部変更となり、「診療放射線技師の資質向上のための事業(STAT画像所見報告・放射線検査説明の推進を追加)」「診療放射線学に関する研究と啓発に関する事業(各委員会、分科会項目から[学術大会の開催企画]へ移行)」「認定資格に関する事業(学会に移行した認定資格項目を削除)」「関係官公庁等との連携事業(一括記載に変更)」とする旨が述べられ、審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

次に江端業務執行理事より、2026年度予算案について事業別の予算説明がありました。「告示研修費」「法人会計費」が前年度より大幅に減額された一方で、「学術大会に関するシステムの機能強化費」「80周年記念誌関係費」「原子力災害に関する事業費」が追加され、「学会に移行された分科会」の予算削除、および「新会員情報システムの構築・整備」の別項目化などが報告されました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

続いて児玉副会長より、第2回日本放射線医療技術学術大会(JCRTM)の開催について説明がありました。前回理事会で承認された合同学術大会開催に関して、会期および開催地

の協議事項が説明されました。両会での会員アンケート調査結果を踏まえ、交通の利便性、会場規模、費用対効果を検討した7候補地が提案されていましたが、2025年度第2回JART-JSRT定期懇談会を経て、2028年10月6日(金)から8日(日)まで、新潟県「朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター」での開催が決定され、新潟県診療放射線技師会からの賛同も得られた旨が報告されました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

また園田理事より、会員情報システムと本会ホームページのリニューアルについて説明がありました。現行システムの改修費用やランニングコストを精査した結果、ベンダー企業を刷新することが第4回理事会で承認されており、新システムの導入により、会員の利便性向上や地区技師会との連携強化・負担軽減、事務局の負担軽減が図れます。今回、提案された3つのプランに対し、中村監事より「第4回理事会承認額からの増額に対する財務的妥当性」や「6月の更新期限の順守」について確認があり、運用テスト期間の確保や周知徹底を求める意見が出されました。江端業務執行理事からは「昨年の補正予算で準備した公益充実資金により幾分か増額であれば対応可能だが、コスト抑制の検討はぜひとも必要」との意見がありました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

その他の議題として、「初任給調整手当の廃止」「職員給与規程改定」「社会活動表彰の継続」「表彰規程改定」「医療被ばく低減施設新規認定」「医療被ばく低減施設認定サーベイヤー任命」「臨床実習の評価方法」「災害による会費免除」「2025年度本部・地域功労表彰および永年勤続表彰候補」「2026年度学術研究助成金審査結果」「入会者・退会者・会費免除の承認」の議案が審議され、いずれも全会一致で承認されました。

報告事項として福井県の村中会長より、第41回日本診療放射線技師学術大会報告書と決算報告書の詳細な説明がありました。また堀住事務局長より会員動向について、2026年

1月末の時点で会員数が34,307人、組織率は57.9%であるとの報告がありました。広報委員会の園田理事からは、多くの事業を行っているが、広報に力を入れないと会員まで届かないとし、LINE(3,261人)、Facebook(766人)、Instagram(171人)という登録状況の報告とともに、さらなる情報発信を強化し、多くの方にフォローしていただきたい旨が述べられました。業務拡大推進委員会の菊地理事からは、告示研修を本年度12月末の時点で156回開催し、5,516人が修了

(累計：基礎41,768人、実技31,960人)したことが報告されました。また本年度で地区開催が終了することに伴い、関係各所へ謝辞が述べられました。

その他、各地域理事、委員会、分科会から42項目の報告がなされました。

最後に上田会長からのあいさつをもって本理事会は終了しました。詳細は、本会会誌に掲載される2025年度第6回理事会議事録(抄)をご参照ください。

## 2025年度 第2回JART-JIRA懇談会 開催される (ハイブリッド開催)

2026年1月29日(木)、日本画像医療システム工業会(以下、JIRA)とJARTによる2025年度第2回定期懇談会が、日本橋・日本ライフサイエンスビルで開催されました。

JIRAからは瀧口会長をはじめ7人が参加(うち1人はWeb参加)、本会からは上田会長、児玉副会長、江端業務執行理事、園田理事、堀住事務局長が会場参加し、富田副会長、江藤副会長、川守田理事がWebで参加しました。

会議は、冒頭に上田会長および瀧口会長がそれぞれあいさつを行った後、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。

本会からは、第41回JCRTの開催報告ならびに第42回・第43回JCRTの準備状況、ITEMへの出展について説明を行いました。また昨年度より開始している原子力災害時に備えた人材育成事業の一環として実施している「甲状腺簡易測定研修」の実施状況についても報告がなされました。

一方、JIRAからは直近の活動状況に加え、経済部会より診療報酬に関する最新情報、法規安全部会より医療機器規制

の最近の動向について説明がありました。さらに業界トピックスとして医療機器のサイバーセキュリティの現状が共有されました。医療機器の「基本要件基準」への適合状況も話題となりましたが、情報インフラや安全管理は直接的な収益を生むものではなく、結果として経営を圧迫している現状に対する危機感も示されました。

また医用ディスプレイの新ガイドライン運用に関するワーキンググループ(WG)の進捗状況についても意見交換が行われました。WGに参加する4団体(JIRA、JRS、JSRT、JART)は、JESRA X-0093からTR-0049への円滑な実運用移行に向け、より丁寧な意思疎通を図りながら議論を重ね、合意形成を進めていくことが重要であるとの認識を共有しました。

令和8年度の懇談会は、予定通り年2回開催することが確認され、次回は年度替わり後の夏ごろに本会主催で実施される予定です。会議は建設的な議論が交わされ、約2時間にわたり行われました。

## 畦元衆議院議員の議員会館事務所を表敬訪問 —第51回衆議院議員総選挙当選を受けて—

本会顧問である畦元将吾氏が、2026年2月8日(日)投票の第51回衆議院議員総選挙において東京6区から立候補され、見事当選されました。これにより、畦元氏は通算3期目の衆議院議員に就任されました。

議員会館への事務所移転も落ち着いたことから、3月4日(水)、本会上田会長と江端業務執行理事が衆議院議員会館を訪問し、当選のお祝いを申し上げるとともに議員事務所への表敬を行いました。

当日はご多忙の中、畦元衆議院議員自らご対応くださり、選挙期間中から有権者に訴えてこられた認知症治療に関する国への働き掛けや、医療を取り巻く厳しい環境の改善に向けて尽力していきたいとの抱負を述べられました。



これに対し上田会長からは、現在、JARTが取り組んでいる各種事業について説明するとともに、省庁との情報共有の取り組みや、医療安全に関する制度改善に向けた活動状況について報告を行いました。また今後の活動においても適宜ご相談させていただきたい旨をお伝えし、意見交換を行いました。

さらに衆議院議員就任後においても、本会顧問の役職については継続に問題がないことが確認され、今後も引き続きご指導を賜ることとなりました。

なお、2022年2月14日に設立された「ラジエーション知識を普及させ安全利活用を推進する議員連盟」（通称：ラジエーション議連、会長：田村憲久元厚生労働大臣）において、畦元衆議院議員は初代事務局長を務められており、現在も継続して活動されています。今回の国政復帰により、同議員連盟の活動がさらに活発化することが期待されます。

また今回の国政復帰に合わせて、診療放射線技師免許を有する本会会員が畦元衆議院議員の公設秘書として採用されま

した。今後、職能団体と国政をつなぐパイプ役としての活躍が大いに期待されます。

なお当日は、衆議院議員会館訪問に先立ち、東京都世田谷区選出の小松大祐東京都議会議員を都議会議事堂内の幹事長室に表敬訪問しました。選挙期間中に畦元候補（当時）へご支援を賜ったことへの謝意をお伝えするとともに、診療放射線技師の職能団体である本会の活動や診療放射線技師の業務内容について紹介した資料をお渡ししました。

小松都議への表敬には、日本診療放射線技師連盟の木暮陽介理事長もご同行され、ごあいさつを頂きました。選挙期間中に頻りに顔を合わせていたこともあり、終始和やかな雰囲気の中で歓談が行われました。

なお、2026年9月11日（金）から13日（日）に開催予定である第42回日本診療放射線技師学術大会への畦元衆議院議員出席に関しては、現在、秘書を通じて日程調整を行っております。今後のさらなるご活躍が期待されます。（文責：江端 清和）

## 2025年度 がん医療の均てん化に向けた放射線治療セミナー（基礎編）開催報告（Web開催）

がん対策委員会 安井 啓祐（藤田医科大学）

2026年1月25日（日）、2025年度 がん医療の均てん化に向けた放射線治療セミナー（基礎編）をZoomを用いたWebセミナーとして開催しました。

本セミナーは「放射線計測から放射線治療の安全・質の確保を学ぶ」をテーマに、初学者向けの講習会として企画立案し、開催したものです。講義は以下の4講義と総合討論を実施しました。定員200人が早々に満員となり、関心の高い内容であることがうかがえました。

総合司会 （新潟県立中央病院 大坂 暁胤 先生）

1. 基礎講座1：高エネルギーX線の吸収線量評価  
（信州大学医学部附属病院 小島 裕輔 先生）
2. 実践：水吸収線量計算ワークシートの実例  
（藤田医科大学 安井 啓祐 先生）

3. 基礎講座2：高エネルギー電子線の吸収線量評価  
（福島県立医科大学附属病院 長澤 陽介 先生）
4. 応用講座：相互校正と不確かさ  
（森ノ宮医療大学 木下 尚紀 先生）

各講義後には活発な質疑応答が行われ、参加者から寄せられた質問に対して講師陣より丁寧かつ実践的な回答がなされました。臨床現場で即活用可能な内容が多く、参加者の満足度も高い有意義なセミナーとなりました。

本セミナーの開催に当たり、ご講演を賜った先生方に深く感謝申し上げます。また開催に際してご助言・ご協力を頂いたがん対策委員会、学術委員会放射線治療ワーキンググループメンバー、および本会事務局の皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 「オートプシー・イメージング(Ai)検査ガイドライン第3版」のお知らせ

このたび、「オートプシー・イメージング(Ai)検査ガイドライン第3版」を公開致しましたので報告させていただきます。

オートプシー・イメージング(Ai)分科会では、Aiの普及と質の向上を目的として、実態調査や認定技師事業、ガイドライン策定などの取り組みを継続してきました。近年、法制度の整備や社会的要請の高まりにより、死亡時画像診断(Ai)は死因究明における重要な基盤として全国的に広がりを見せています。一方で、地域間の体制差や技術水準のバラツキといった課題も残されています。

こうした状況を踏まえ、前回改訂からの技術進歩や運用環境の変化を反映し、現場で活用しやすい実践的な指針として、本ガイドライン第3版を策定しました。本ガイドラインが、診療放射線技師によるAi実施の標準化と死因究明の質の向上に寄与し、制度の発展と社会からの信頼につながることを期待しています。

ガイドラインはJARTホームページのお知らせ ([https://www.jart.jp/news/topics/20260205\\_1698.html](https://www.jart.jp/news/topics/20260205_1698.html)) よりご参照ください。

INFORMATION

# 2025年度 生涯教育セミナー（放射線治療計画・応用編）開催報告（ハイブリッド開催）

放射線治療WG委員 久家 教幸（純真学園大学）

2026年1月17日（土）、森ノ宮医療大学さくらポート（大阪府大阪市）において「乳がん」術後放射線治療計画・応用編をテーマとしたセミナーを開催しました。本セミナーは、現地参加者8人、リアルタイムWeb受講者100人によるハイブリッド形式で実施しました。

今回のセミナーでは、単なる治療計画装置（TPS）の操作習得にとどまらず、臨床現場で頻用されるField-in-Field（FIF）法および乳房全切除後放射線療法（PMRT）を題材に、「より良い治療計画をいかに考え、構築するか」という思考プロセスの共有を目的としました。

プログラムは、現地での講義および実習をリアルタイムで



講義の様子（長澤先生）



実習の様子

配信する形式で行いました。冒頭では小野薫先生（広島平和クリニック）より、TPSの基本操作と基本的な計画作成手順について解説があり、続いて長澤陽介先生（福島県立医科大学附属病院）より、乳がん術後放射線治療に必要な臨床知識ならびにFIF・PMRTにおける実践的ノウハウが解説され、その後、治療計画実習を実施しました。さらに現地参加者によるプランのブラッシュアップ時間を活用し、Web受講者を対象としたリアルタイムアンケートを実施しました。伊藤憲一先生（栃木県立がんセンター）および大坂暁胤先生（新潟県立中央病院）がAIKONNECT（自作ソフト）を用いて結果をリアルタイム表示し、「セットアップの現状」や「プラン作成におけるタスクシフト」など、各施設の現状が共有されました。

事後アンケートでは、回答者の約65%が30～40代の中堅層であり、経験年数10年以上のベテラン層も多く含まれていました。全ての講義・実習において「良い」「おおむね良い」との回答が多数を占め、現地・Web参加者共に高い満足度が得られました。また「スライドの完成度」や「臨床的有用性」が特に評価されていました。一方で、「TPS操作手順の事前予習」や「アーカイブ配信」を求める意見も寄せられました。

本セミナーを通じて、参加者は今回得た知識から自施設の治療計画を客観的に見直し、「明日からの臨床に自信を持って提案できる力」を養う機会になったと思われます。今後も、会員ニーズに応じた実践的なセミナーを企画していきたいと思っております。

最後に、会場を提供いただいた森ノ宮医療大学ならびに、ご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。



集合写真（現地参加者とスタッフ）

## JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ（手続きについて→各種様式→その他）よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

# 第66回東海四県診療放射線技師 学術大会 開催報告

一般社団法人三重県診療放射線技師会 会長 武藤 裕衣

2026年2月15日(日)、三重大学医学部附属病院 総合医学教育棟2階 臨床第2講義室において、第66回東海四県診療放射線技師学術大会を開催致しました。大会テーマは「地域を支える力～若手技師の成長と脊椎イメージング最前線 in 東海～」。

多くの皆さまのご協力により142人の参加を得て、盛況のうちに終えることができました。最初の会員発表セッション「失敗から学ぶ若手技師の成長」では、若手指導に携わる立場から、指導時に直面した課題や工夫を東海四県の施設よりご提示いただきました。討論を通じて各施設の教育体制を客観的に見直す機会となり、若手技師が失敗を恐れず挑戦できる環境づくりについて活発な意見交換が行われました。



ランチョンセミナーでは、「愛知医大における造影CT検査の運用～新世代320列ADCT導入による変化と進化～」 「FFRangio～虚血評価の新たなアプローチ～」の2題をご講演いただき、日常業務に直結する最新の知見が共有されました。

午後の特別講演では、三重大学医学部附属病院 脳神経外科学 助教・脊椎脊髄センター副センター長の西川拓文先生より、「各種画像モダリティが導く脊椎脊髄外科治療～画像読影と手術戦略の融合～」をご講演いただきました。手術動画や症例提示を交え、画像がどのように臨床判断へと結び付くのかを明快にご解説いただき、参加者の理解が一層深まりました。

シンポジウム「脊椎を撮る」では、単純X線/CT/MR/透視・アンギオの4モダリティから報告がありました。「再現性のある画像」「撮像・再構成の最適化」「患者対応を含むポジショニング」「臨床目的に応じた描出角の導出」など、若手教育にも日常診療にも直ちに生かせる実践的な示唆が数多く示されました。

最後に、次回開催県である静岡県の高橋真会長より力強いごあいさつを頂き、閉会となりました。

本大会の運営にご協力いただいた企業の皆さま、会員の皆さま、ご参加くださった全ての方々、そして実行委員の皆さまに心より御礼申し上げます。

次回の静岡大会は2027年2月14日(日)、アクトシティ浜松で開催されます。新たな学びと交流の場として、静岡の地で皆さまと再びお会いできることを心より楽しみにしております。

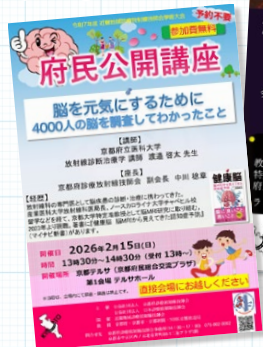


# 令和7年度 近畿地域 診療放射線技師会学術大会 開催報告

公益社団法人京都府診療放射線技師会 会長  
令和7年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 大会長  
久保田 裕一

2026年2月15日(日)、京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)において、令和7年度近畿地域診療放射線技師会学術大会を開催致しました。本大会は、日本診療放射線技師会および京都府診療放射線技師会の主催の下、近畿地域診療放射線技師会が主管し開催致しました。本大会のテーマは、「原点を見つめ 挑戦と進化 その先へ～診療放射線技師の未来を切り開く～」と致しました。私たち診療放射線技師の原点とは何か。医療人として、日々の業務、そして拡大業務を通じて、より良い医療を提供するために、どのような挑戦と進化を続けていくのか。さらに100年、200年先の診療放射線技師の未来を見据え、国民の皆さまから求められる存在であり続けるためのヒントを、本大会で見つけていただければと願いを込めました。

2月の京都は極寒を覚悟して準備を進めてまいりましたが、当日は穏やかな天候に恵まれました。対面形式のみでの開催ではありましたが、当日参加を含め、310人と目標を上回る多くの皆さまに参加していただき、大きな安堵と喜びを感じました。本大会では31題の一般演題に加え、教育講演として日本診療放射線技師会会長の上田克彦先生より「人口減少時代の診療放射線技師会の役割」と題してJART Vision 2040の内容を中心とした将来構想についてご講演いただきました。



特別講演では、国立情報学研究所所長で京都大学特定教授の黒橋禎夫先生より、ソプリン医療AIおよび日本語医療LLMの研究成果についてもご紹介いただきました。またランチョンセミナー3枠に加えスイーツセミナー1枠を開催し、多様な学びの場を提供しました。さらに府民公開講座を併催し、認知症をテーマに京都府立医科大学の渡邊啓太先生に分かりやすく講演いただきました。また厚生労働省通知に基づき、告示研修修了者がワクチン接種に対応できる体制を踏まえ、本大会では実技講習会も開催致しました。ご参加いただいた皆さま、共催企業の皆さま、近畿2府4県の会員の皆さま、そして企画段階から当日開催まで尽力してくれた実行委員の皆さまに、心より感謝申し上げます。なお、令和8(2026)年度は日本放射線技術学会近畿支部との合同開催「近畿放射線医療技術合同学術大会」を神戸コンベンションセンターで開催致します。多くの皆さまのご参加を心よりお願い申し上げます。



# 2025年度 第1回医療画像情報精度管理士セミナー 開催報告 (Web開催)

医療画像情報精度管理士分科会

2026年2月19日(木)午後7時より、第1回医療画像情報精度管理士セミナーがオンラインで開催されました。医療画像情報精度管理士分科会の原瀬正敏委員(豊橋市民病院)および坂本博分科会長(東北大学)が進行を務め、「診療放射線技師が知るべきサイバーセキュリティ対応」をテーマに、一

般社団法人日本画像医療システム工業会(JIRA)産業戦略室シニアリサーチャーの中里俊章氏が講演を行いました。

同氏は2004年から、医療機器ソフトウェア、サイバーセキュリティ、AI関連の国際標準化活動に日本代表として参画しておられます。分科会では、第39回JCRT(日本診療放射線技師学術大会・熊本)での企画以降、継続して本分科会とサイバーセキュリティに関する情報提供を行ってきました。

本講演では、近年、医療機関へのサイバー攻撃が増加して



INFORMATION

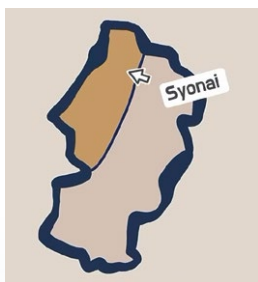
第7回 第42回日本診療放射線技師学術大会

山形への道 Go To YAMAGATA

実行委員 佐藤 公彦 (日本海総合病院)



山形県庄内地域のご紹介



9月に山形市で開催される第42回日本診療放射線技師学術大会。その熱気あふれる議論の合間に、あるいは学会の締めくくりに、ぜひ少し足を延ばしていただきたい場所があります。山形市から高速バスで約2時間。そこには、雄大な日本海と黄金色に輝く広大な庄内平野が広がる「庄内地方」が待っています。

日本海と庄内平野に抱かれた山形県庄内地方は、自然、歴史、そして豊かな食文化が調和した魅力あふれる地域です。羽黒山・月山・湯殿山からなる「出羽三山」は、古来より山岳信仰の聖地として人々の信仰を集めてきました。中でも、羽黒山の五重塔(国宝)へと続く2,446段の石段は、杉並木に囲まれた静寂の空間です。9月の爽やかな風を感じながら一歩ずつ登れば、千年にわたる祈りの歴史を肌で感じることができるでしょう。

海側に目を向けると、かつて「西の堺、東の酒田」と称された港町・酒田が、当時の繁栄を今に伝えています。北前船交易によってもたらされた富は、本間家日本邸をはじめ数々の文化財を残しました。中でも山居倉庫は、木造倉庫とケヤキ並木が織りなす景観が印象的で、庄内を代表する観光名所の一つとなっています。また建築物だけではなく、料亭文化や茶道、雛人形など、京都由来の洗練された文化をこの地に根付かせました。

隣接する鶴岡市は、日本で唯一、ユネスコの「食文化創造都市」に認定された都市です。農家の人々が数百年にわたり守り継いできた60種類以上の在来作物は、世代を超えて栽培される「生きた文化財」として、現代の食卓や料理人たちに受け継がれています。羽黒山の宿坊で味わう精進料理は、山菜やごま豆腐、野菜を中心とした素朴で滋味深い味わいで、心と体を静かに整えてくれる特別な食体験となるでしょう。

そして庄内の食を語る上で「酒田ラーメン」を外すことはできません。酒田市は人口当たりのラーメン店数が全国屈指の激戦区ですが、その大きな特徴が「自家製麺」と「極薄ワンタン」です。透き通るほど薄く、口の中でとろけるワンタンは、まさに職人技の結晶。トビウオ(あご)出汁をベースにした澄み切ったスープは、学会での議論の後の疲れた胃にも、やさしく染み渡ります。文化庁の「100年フード」にも認定された酒田ラーメンは、「毎日食べられる完成度の高さ」が評価され、県外からこの一杯を目当てに訪れるラーメンファンも少なくありません。

また庄内には旅の疲れをゆっくり癒やせる温泉地が点在しています。日本海に面した湯野浜温泉は、砂浜まで歩いて行けるほど海に近く、湯に漬かりながら水平線に沈む夕日を眺められる贅沢なロケーションが魅力です。一方、開湯千年以上の歴史を誇るあつみ温泉は、山あいの温泉郷として古くから湯治場として親しまれてきました。川沿いに旅館が並ぶ落ち着いた温泉街には足湯も整備され、散策しながら気軽に湯を楽しむことができます。

自然、歴史、そして誇るべき食文化が息づく山形県庄内地方。日本海の絶景と、心に残る酒田ラーメンを味わいに、ぜひ一度この地を訪れてみてください。



山居倉庫



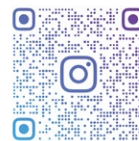
酒田ラーメン



JCRT42 YouTubeチャンネル https://www.youtube.com/@JCRT42



山形県放射線技師会 Facebook https://www.facebook.com/profile.php?id=61574051232747



山形県放射線技師会 Instagram https://www.instagram.com/yamahogi/p/



**第42回** The 42nd Japan Conference of Radiological Technologists

# 日本診療放射線技師学術大会

**第33回 東アジア学術交流大会**

The 33rd East Asia Conference of Radiological Technologists (EACRT)

## 新たな潮流 紡ぐ灯

人とAIがもたらす放射線技術の未来

JARTスローガン

安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう



日時

2026  
**9/11 Fri - 13 Sun**

場所

**山形ビッグウイング**  
(現地開催+オンデマンド)

立石寺 (山寺) 不滅の法灯

会長

**上田 克彦**  
公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 山形県放射線技師会

大会長

**鈴木 幸司**  
一般社団法人 山形県放射線技師会 会長

後援 | 厚生労働省(予定) / 公益社団法人 日本放射線技術学会  
山形県 / 山形市(予定)

大会事務局

一般社団法人山形県放射線技師会  
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2  
山形大学医学部附属病院放射線部内  
Tel : 023 (628) 5786 Fax : 023 (628) 5799  
E-mail : 42jart@gmail.com

## 小さな挑戦が未来をつくる



変化が早く、不安が当たり前になった時代に生きる若い技師の皆さまへ。挑戦は「一発で成功すること」ではなく、好奇心を小さな行動に変え続ける力です。大きな舞台を待つ必要はありません。週に一度の短い学び、月に一つの小さな実験（これやってみよう、とかでも）、患者さんに一言声を掛けてみる——その積み重ねがやがて自信になり、選択肢を増やします。

まずは「一つだけ」を決めて3カ月続けてみてください。興味のあるテーマの一つを選び、結果にこだわらず記録を残す習慣を付けると、失敗は恥ではなく次の一手を生むデータになります。現場で培った観察力と誠実さは、こうした小さな挑戦を、確実に成果に変える最大の武器です。

しかし、孤独な挑戦はなかなか続かないのも自然。若手同士の短い勉強会や先輩への相談、他職種との情報交換で支え合う

ネットワークをつくれると良いですね。また育休や産休で一時的にキャリアを変える人、転職や働き方を選ぶ人も含めて互いに尊重し合う文化が、現場全体の強さになると考えます。

同時に、自分の生活と心身を守ることを忘れないでください。休むこと、助けを求めること、優先順位を見直すことも立派な戦略と考えます。挑戦は消耗ではなく育てるものと捉え直してください。そして評価や肩書に振り回されないでほしい。外からの評価は一時的でも、自分で積み上げた経験と学びは誰にも奪えない資産です。今日の小さな一歩が、患者さんの安心と自分の確信につながります。若き技師の皆さまが、互いに励まし合いながら前に進むことを心から応援します。

(文責：武藤 裕衣)

## 4月・5月の講習会などスケジュールのご案内



- 診療放射線技師のための調査研究スキルアップセミナー：Web開催 2026年5月14日(木)  
『質的調査（インタビュー／観察）』編 ※Zoomによるライブ配信（後日、オンデマンド配信を予定）

### [e-ラーニング（ストリーミング方式）]

- 生涯教育 クリニカルリーダー（e-ラーニング）セミナー 2026年4月6日(月)午前0時から2027年1月27日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。
- 告示研修（基礎研修） 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

## Instagramを始めました!



本会では、公式SNSとしてInstagramを開設しています。  
Instagramでは「JART.Tokyo」と検索してフォローしていただけるとうれしいです。  
また本会ではFacebook、LINE、YouTubeでも情報を発信しています。診療放射線技師の皆さまに役立つ情報をお届けしますので、ぜひご登録ください。  
各SNSの登録方法については、下記よりご確認ください。  
・日本診療放射線技師会公式SNS.pdf <https://www.jart.jp/docs/日本診療放射線技師会公式SNS.pdf>

## 本会への入会手続きについて（お知らせ）



ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<https://www.jart.jp>) 右上の“新規入会”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。  
TEL：03-4226-2211 E-mail：info@jart.or.jp ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

### 事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。